

平成31年度当初予算、平成30年度3月補正予算概要

本市の平成31年度当初予算は、4月の統一地方選挙を控え、骨格予算となりますが、継続費、債務負担が設定された事業や早期に予算措置を必要とする事業を計上し、住民生活や円滑な事業実施に支障が生じないように留意いたしました。

予算編成に当たっては、第6次敦賀市総合計画後期基本計画「敦賀市再興プラン」に掲げた施策について、目標年次に向けた成果を挙げるべく、着実な事業の推進を図るため、基本目標に沿った事業に対し重点的に配分を行うとともに、様々な課題や地域経済状況の変化に対応するための事業について予算化しております。

その結果、新年度の予算規模は、前年度当初予算と比較して一般会計は1.3%の減、全会計では0.3%の減となったものであります。

当初予算の主な事業といたしましては、お手もとに配布した資料のとおりですが、重点施策毎に申し上げますと、

『ぬくもりに満ちた子育て支援・地域福祉の推進』につきましては、消費税率の引上げによる低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券の発行に係る予算を計上するとともに、ひとり親家庭の子育てに関する経済的負担を軽減し、安心して子育てができるよう、放課後児童クラブ保護者負担金等の補助や学習支援に係る経費を計上いたしました。

また、4月に開設予定の病児・病後児保育施設の運営経費を計上いたしました。

『新しい交通ネットワークの形成とまちづくりへの展開』につきましては、本市の玄関口であるJR敦賀駅や観光資源が集積する金ヶ崎周辺エリア等にレンタサイクル拠点の整備を行い、二次交通の充実を図るとともに、観光客の周遊の利便性を向上するための観光案内看板の整備に係る工事費等を計上いたしました。

また、北陸新幹線敦賀開業に向け、新幹線駅周辺の市道188号線の道路改良に係る工事費を計上いたしました。

『循環型社会の形成と環境の保全』につきましては、県からの委託金を活用し、海岸漂着物の回収、処理等を行い、環境美化に取り組むための経費を、また、下水道事業において、老朽化した集落排水施設の長寿命化を図るとともに適切な処理能力を確保するための機能診断及び機能保全計画策定に係る経費を計上いたしました。

『特色と強みを活かした産業の振興』につきましては、新たな産業創出に向け、民間企業が本市にて実施する再生可能エネルギーや省エネルギーの研究開発に要する経費に対して補助を行います。

また、企業的園芸を支援するため、疋田区に建設予定の大株レタスの植物工場整備に係る補助を行います。

さらには、氣比神宮を中心とする門前町活性化の担い手育成、空き店舗活用を支援する補助金や、敦賀港開港120周年記念事業開催に係る経費を計上いたしました。

『心豊かな人を育むまちづくり』につきましては、教育環境の充実を図るため、各教室に設置している大型ディスプレイや教育用コンピューター、学校間情報ネットワーク機器の更新を行うための経費を計上するとともに、様々な要因により学校生活に適應できない児童、生徒の環境を改善するため、今年度に増員したスクールソーシャルワーカーの体制を継続する経費を計上いたしました。

また、国体開催によるスポーツ振興の機運の高まりを前進させるため、

子どもたちを対象とした著名アスリートの指導による、ボールゲームフェスタの開催に係る経費や、奥の細道330年を記念した句会ライブの開催等に係る経費を計上いたしました。

次に、平成30年度3月補正予算について申し上げます。

まず、一般会計では、新年度予算に計上予定であった私立保育園の施設整備や松原小学校の給排水設備改修、各小中学校等特別教室へのエアコン増設に係る経費について、国の補正予算の獲得を目指し、前倒しで計上いたしました。

その他の予算といたしましては、職員の早期退職に伴う退職手当や、ふるさと納税を通じて全国からお寄せいただいた寄附金の各種目的基金への積立金等を計上いたしました。

次に、特別会計では、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計において、保険給付費の不足見込み額を計上いたしました。

最後に、企業会計につきましては、下水道事業会計において、櫛川及び本町の雨水管渠の整備費を国の補正予算の獲得を目指し、前倒しで計上いたしました。

以上が3月議会に提案いたします予算の概要でございます。